

## 瀬戸内国際芸術祭 2022 秋会期 漆の家 ワークショップ 参加者募集

木造家屋をリノベーションし、伝統的な香川漆芸の技法を施した男木島のアート作品「漆の家」にて、瀬戸内国際芸術祭 2022 秋会期の特別企画として、香川県の漆芸家による「漆の家ワークショップ」を開催します。

### 1 開催概要

- (1) 日時 ① 堆漆<sup>ついしつ</sup>のペンダント作り 令和4年10月8日(土)午後1時～午後3時30分
- ② 網代編み<sup>あじろ</sup>コースター作り 令和4年10月29日(土)午後1時～午後3時30分
- (2) 場所 漆の家(高松市男木町1747番地)
- (3) 料金 2,000円
- (4) 定員 各10名

### 2 体験内容

- ① 堆漆板<sup>ついしつばん</sup>(色漆等を120回ほど塗り重ねた板)を細工<sup>ちようしつ</sup>してペンダントを制作します。削る度合いによって、現れてくる色が異なる香川漆芸の彫漆<sup>ちようしつ</sup>の特徴(黒い部屋の例)が学べます。作品は持ち帰っていただきます。

(指導) 北岡 省三 先生(漆芸作家・香川県指定無形文化財彫漆保持者・香川県文化功労者)  
ほか

(募集締切) 令和4年9月30日(金)午後5時



※夏会期で開催した際の写真です。

- ② <sup>らんだいしつき</sup> 籃胎漆器とは、薄く裂いた竹幹や、つる植物などを編んでつくった器形を籃胎といい、その編みを生かして、摺り漆<sup>す</sup>をしている薄板を模様編みして仕上げるコースター（白い部屋の壁面作品の例）を、ミニ体験できます。作品は持ち帰っていただきます。

（指導）大谷 早人 先生（漆芸作家・重要無形文化財蒔醬保持者（人間国宝）・紫綬褒章受章・日本工芸会理事・香川県文化功労者）ほか  
（募集締切）令和4年10月21日（金）午後5時



※夏会期で開催した際の写真です。

### 3 応募手続

下記の内容を募集締切日までにE-mailにより送付してください。

- (1) 参加希望番号（①または②）
- (2) 住所
- (3) 氏名
- (4) 電話番号

### 4 その他

- (1) 参加決定者にはメールまたは電話でお知らせします。なお、応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。
- (2) コロナウイルス感染症の影響等により、急きょ中止する場合があります。中止の場合にはスタッフが参加決定された方へご連絡します。
- (3) 現地までの交通費は各自負担してください。

### 5 問い合わせ・応募提出先

県委託先：(特非) アーキペラゴ

〒760-0062 高松市塩上町1丁目2番7

Tel:087-813-1001 Fax:087-813-1002

E-mail : [info@archipelago.or.jp](mailto:info@archipelago.or.jp)